

ジオスペース館だより

第741号

令和8年2月1日

★今月の星もよう★

2月の中旬20時頃、夜空で一番目立つのは、マイナス2.4等の明るさで輝く木星です。また、冬の大三角をつくるおおいぬ座の1等星シリウスの下には、りゅうこつ座の1等星カノープスが地平線すれすれに上がっています。豊川では高度が2.5度ほどしか上がらないため見つけるのは難しいですが、シリウスが南中する少し前の時間がチャンスです。南の空が開けている場所で探してみましょう。この星は、本来白く輝き全天でおおいぬ座のシリウスに次いで明るいのですが、大気の影響を受けて実際よりも暗く赤っぽく見えます。中国の伝説では「南極老人星」とも呼ばれ、この星を見ると長生きで生きると言われています。

★好条件の皆既月食★

3月3日の夜、満月が地球の影の中に入つて太陽の光が月に当たらなくなる「皆既月食」が日本全国で見られます。今回は、東の空で20時04分から皆既食（月が完全に影に入る）が始まり、21時03分に終わりますので、観察しやすい時間帯の月食です。次に日本全国で見られる皆既月食は2029年1月1日で、年が明けるとすぐに月が欠け始めます。豊川で深夜前に皆既月食が見られるのは、次は2032年4月25日ですので、3月のこの機会にぜひ観察してみてください。

★月食が赤く見えるしくみ★

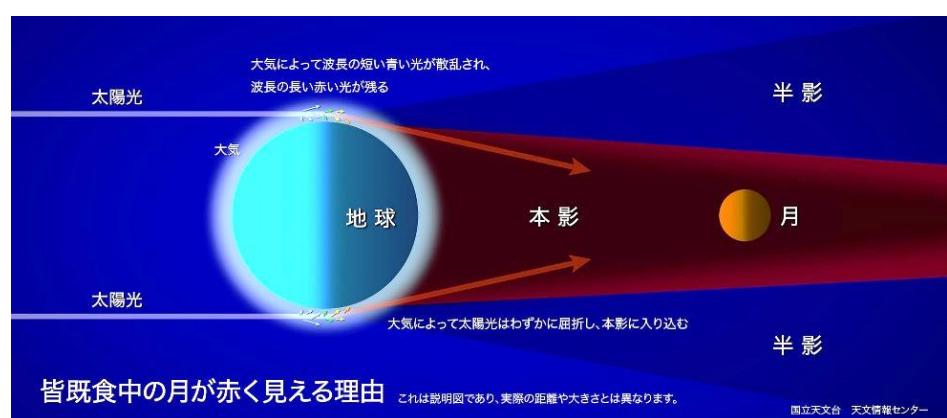
皆既月食中の月を見たことのある方は、月が赤銅色（赤黒い色）に見えたことがあると思います。これは、夕日が赤く見えるのと同じ原理です。太陽の光には様々な波長の光が含まれています。波長の短い青い光は大気中の分子によって散乱されやすく届きにくい反面、波長の長い赤い光は地球の大気を通りやすいです。皆既月

食中は太陽-地球-月が一直線に並び、月の全てが地球の本影に入りますが、大気によってわずかに屈折した赤い光が月に届き、月が赤く見えます。また、皆既食中の月の明るさは毎回同じではなく、地球の大気の状態に影響されます。例えば大きな火山噴火などがあった時は、大気中に含まれる塵が多く、赤い光でさえも月へ届かず暗い皆既月食になることがあります。また、大気が澄んでいる時は、大気中の塵に影響されず明るいオレンジ色に見えることがあります。

☆2月のプラネタリウムの内容については、別刷りの「投影案内」をご覧ください

☆プラネタリウムのお休み

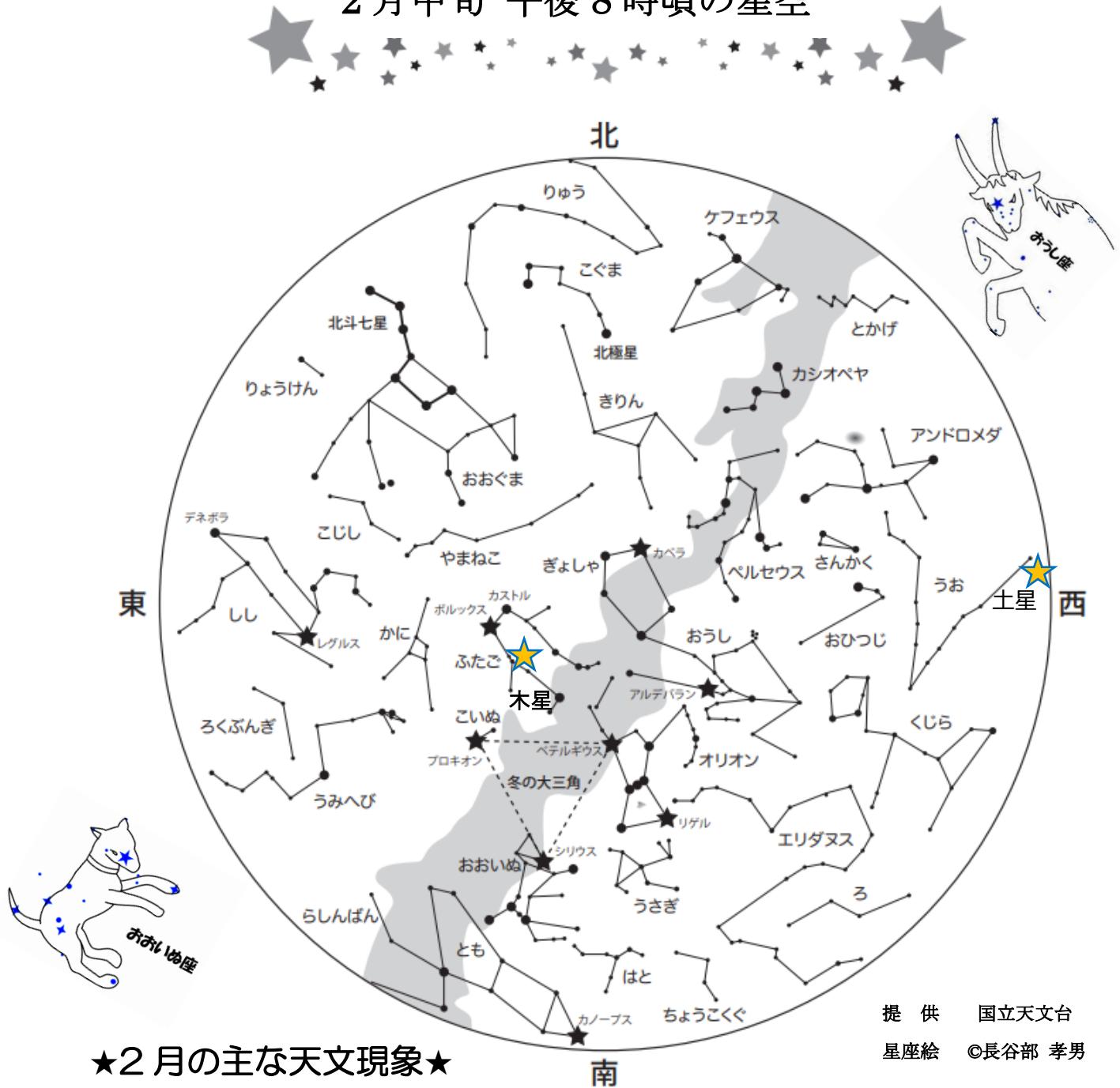
2/2(月)、9(月)、12(木)、16(月)、17(火)、18(水)、24(火)



皆既食中の月が赤く見える理由 これは説明図であり、実際の距離や大きさとは異なります。

国立天文台 天文情報センター

2月中旬 午後8時頃の星空



★2月の主な天文現象★

2日(月)	● 満月 スノームーン
9日(月)	● 下弦
17日(火)	● 新月
19日(木)	ほそ つき すいせい どせい せっせん 細い月が水星と土星に接近
20日(金)	とうほうさいだいりかく 水星が東方最大離角
24日(火)	● 上弦
27日(金)	もくせい 月と木星が接近

イベント情報

(中央図書館2階事務室で受付)

★星兄のプラネタリウム笑

2/22(日) 前半の部 13:00~、
後半の部 15:00~

解説: 星兄

参加料: 1人 500円

チケット販売: 1/15(木)~

★季節の星空探訪

まじめうちゅうじんさが
「真面目な宇宙人探し」

3月7日(土) 15:00~
講師: 浅田英夫氏

参加料: 1人 300円

チケット販売: 2/14(土)~